

地域にひろがる 社会福祉法人の取り組み



ブレイメン習志野外観



社会福祉法人 八千代美香会

主な事業

- 特別養護老人ホーム(3)
- グループホーム(2)
- サービス付き高齢者向け住宅
- 保育園(2)
- こども園
- 地域交流プラザ

法人本部／八千代市村上641 特別養護老人ホーム美香苑
お問い合わせ TEL.047-482-8670
HP <http://www.bikou.net/>

●ブレイメン型地域社会をめざそう

昭和63年に設立した社会福祉法人八千代美香会は、八千代市、千葉市若葉区、船橋市で特別養護老人ホームを運営し、八千代市と習志野市で保育園、子ども園を運営しています。高齢者福祉と児童福祉の分野で幅広い事業を展開するなか、平成21年には地域交流プラザ「ブレイメン習志野」を開設しました。

この施設は、前知事の堂本孝子氏が提唱した「ブレイメン型地域社会づくりモデル事業」として、県が所有する習志野市内の土地を活用して整備されました。コバ、犬、猫、鶏が力を合わせて生きていくというグリム童話「ブレイメンの音楽隊」になちなみ、児童、障がい者、高齢者を含む地域住民が元々あって住み続けられる地域をめざそうという考えが込められています。

運営団体を公募した結果、同法人が選定され、地域住民の幅広いニーズを詰め込んだ3階建ての施設が完成しました。

●生活困窮の親子も気兼ねなく参加

ブレイメン習志野には、同法人が運営するデイサービス、ショートステイ、リハビリスタジオ、居宅介護支援センター、地域包括支援センター、多目的ホールなどのほか、別法人が運営する保育施設、市のサービス機関であるヘルスステーション（地域保健活動の拠点）などが入居しています。

レストランも同法人の運営で、毎日500円ランチを提供。近隣に住む一人暮らしの高齢者を中心に大勢の利用客が訪れます。また、同法人では今年10月から別地区で、「朝カフェ」も始め、ますます地域の憩い



参加者の笑顔で職員のモチベーションも高まります。



朝カフェ

の場が広がっています。

このレストランで、平成28年から子ども食堂がスタートしました。月1回、金曜の夕食を幼児100円、小中学生200円で提供しています。地域の子どもなら誰でも利用できる形式で、毎回50～60食があるという間に完売してしまいます。

「子ども食堂は本来、支援が必要な子どもを対象としたサービスですが、あえて間口を広げました。地域の子どもたちがにぎやかに食事をするなかで、生活に困っている親子も気兼ねなく参加されています」と、ブレイメン習志野の副施設長、大岩優子さんは話します。

食材については、地元住民から



左から綱島法人本部長、大岩副施設長

提供いただくこともあったり、また担い手についても、いつもランチを食べに来ていただく高齢者などにボランティアとして協力いただいています。

●職員の「やりたい！」から始まる

ブレイメン習志野の地域包括支援センターでは、平成26年から介護予防を目的にした「ブレイメンのラジオ体操」を開催しています。施設に隣接した公園で週2回実施し、近隣の高齢者30名ほどが参加していますが、仲間づくりにもつながっているとのこと。法人本部のある八千代市でもラジオ体操の取り組みが始まりました。

法人の常務理事・法人本部長の綱島由美子さんは、八千代美香会の公益的な事業の特徴について、トップダウンではなく、現場の職員の『やってみたい』という思いからスタートし、施設長など管理者も協力しながらみんなで、形にしていることだと指摘。だからこそ職員のモチベーションが高く、長く継続できるのではないのでしょうか。

今後の取り組みについて綱島常務理事は「当法人には高齢者福祉と児童福祉という2本の柱があるので、子どもと高齢者を結びつけるような公益的な事業を立ち上げて、地域に貢献できればと考えています」と抱負を語ってくれました。



ラジオ体操

県社協ニュース

ねんりんピックで
輝きを魅せます!



第31回全国健康福祉祭とやま大会 ねんりんピック富山2018

夢つなぐ 長寿のかがやき 富山から
平成30年11月3日(土)～6日(火)



全国健康福祉祭は、60歳以上の高齢者を中心とする卓球、テニス、ゲートボール、サッカーなどの各種スポーツ交流大会のほか、囲碁や将棋などの文化交流大会、美術展、健康福祉機器展、音楽文化祭など、あらゆる世代の人たちが楽しめる総合的な祭典です。

第31回となる今大会は、全国健康福祉祭とやま大会（ねんりんピック富山2018）として、11月3日（土）～6日（火）の4日間、富山県総合運動公園陸上競技場での総合開会式を皮切りに、富山県内15市町村で開催されます（主催：厚生労働省・富山県・一般財団法人長寿社会開発センター 共催：スポーツ庁）。

千葉県からは、22種目に141名（男性94名、女性47名）の選手が出場する予定で、平均年齢は70.3歳、最高齢者は男性81歳、女性93歳（平成31年4月1日時点）です。その千葉県選手団の結団及び激励を目的として、10月23日（火）、千葉市のホテルプラザ菜の花にて、結団式を開催しました。結団式には、お揃いのユニフォームに身を包んだ117名の選手が出席しました。

主催者挨拶（千葉県社会福祉協議会会長）、来賓紹介、団長及び副団長紹介に続いて、種目別参加選手が紹介され、選手一同、千葉県健康福祉部 神部眞一次長から激励の言葉をいただきました。大会当日旗手を務める、轟寛選手（種目：ペタンク）に千葉県旗が手渡されると、選手団最高齢（女性）93歳の白井栄子選手（種目：弓道）が「千葉県の代表として、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、富山県に集う全国の仲間たちとの交流を深め、精一杯プレーすることを誓います」と、力強く選手宣誓を行いました。

大会当日は、全国から出場する選手、観客を含め延べ約50万人が集い、盛大に開催されます。



【大会の目標】

1. 「生涯現役社会」につながる高齢者がいきいきと輝く大会
2. 「健康寿命」延伸への気運を高める大会
3. 「地域共生社会」を創る交流とふれあいが広がる大会
4. 自然、伝統、文化、産業、食など「富山県の魅力」あふれる大会
5. 「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会

【千葉県選手団が出場する種目】全27種目中、22種目

- ①卓球 ②テニス ③ソフトテニス ④ソフトボール ⑤ゲートボール ⑥ペタンク
⑦ゴルフ ⑧マラソン ⑨弓道 ⑩剣道 ⑪水泳 ⑫グラウンド・ゴルフ ⑬サッカー
⑭ソフトバレーボール ⑮ウォークラリー ⑯太極拳 ⑰ダンススポーツ
⑱パークゴルフ ⑲カローリング ⑳囲碁 ㉑将棋 ㉒健康マージャン

※他、ラグビーフットボール、ボウリング、ビーチボール、俳句、川柳は、今回の出場はありません。



今回の第32回大会（ねんりんピック紀の国わかやま2019）は、「あふれる情熱はじける笑顔」をテーマに、平成31年11月9日（土）～12日（火）に和歌山県で開催される予定です。

社会福祉施設 経営相談専門家相談カレンダー(平成30年度)

月	会計等(税理士・公認会計士)	労務等(社会保険労務士)	法律(弁護士)
11月	5日(月)・19日(月)	7日(水)・21日(水)	14日(水)・28日(水)
12月	3日(月)・17日(月)	5日(水)・19日(水)	12日(水)・26日(水)
31年1月	21日(月)	7日(月)・16日(水)	9日(水)・23日(水)
2月	4日(月)・18日(月)	6日(水)・20日(水)	13日(水)・27日(水)

◎要予約。一般相談・予約は☎043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで
◎詳細はお問い合わせください。

秘密厳守・相談無料



ご相談ください
福祉サービスに関する
苦情解決相談



千葉県運営適正化委員会 電話043-246-0294

メール support@chibakenshakyo.com FAX 043-246-0298

【受付時間】平日9時～12時、13時～17時（土日祝日・年末年始を除きます）

※来所面談は予約制です。事前にご連絡ください。メール、FAXも可。